

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもひろばポーポーの木なかの		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 5日		～ R6年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R6年 11月 5日		～ R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な活動があり、こどもたちが飽きずに楽しめること。	なるべく他学年と交流できるよう、大人数でできる活動を意識して提供する。	学校の授業などできちんと座れるように、体幹トレーニングを取り入れている。
2	低学年が活動を通じてコミュニケーションが上手に取れている。	思春期の利用者もいるため、SNSや性的ことなどを積極的に取り入れている。	SSTなどは、資料や動画を取り入れて分かりやすく行う。
3	こどもたち全体で、落ち着いて話を聞く環境が整っているので活動にSSTなどの充実した内容が行えている。	フラダンスは長年続けている活動でもあり、発表会に出場したりモチベーションを高く持ちながら行えている。	事業所内に置いてあるおもちゃや書籍など少しずつ新しい物を入れ替えたり、活動も新しいことを取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中学、高校の高学年が遊べる教材が少ない点。	保護者さんにポーポーの木なかのでの活動や出来事の伝え方。	ボードゲームなどの高学年でも好みそうな教材を、増やしていく。
2	パートタイマーの職員も多くおり、職員間での情報共有を意識して行いたい。	バリアフリー化や階段の手すり、駐車場の整備などハード面での環境。	保護者あるいは、職員間での情報共有の方法について、対面、電話、メール、ライン等を工夫して使っていく。
3	地域支援、地域連携については、取り組みがあまりされていない。	地域住民への障害児施設の内容の理解をしてもらう事。	避難訓練等、近隣住民へあらかじめお知らせを実施したり、避難場所の協力などお願いしてみる。